

週報 第3173回

会長 南出 和成 副会長 杉本 憲一・鍛野 信
幹事 松村 泰英 SAA 櫻井 善章

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2022年9月9日)

■ プログラム

「私の履歴書」中田 広宣 会員

■ 次週のプログラム

9月16日: ガバナー公式訪問

■ 今後の予定

- ・ 9月23日: 定款の規定により例会休会
- ・ 9月30日: 卓話担当 山本 博章 会員
講師 国際東洋医療学院
柔道整復学科 専任教員 村田 景司 様
「東洋医学」

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ
おわれて見たのは いつの日か
夕焼小焼の 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

■ 先週の例会

会長の時間

南出 和成 会長



○稲盛和夫氏の逝去について
今週水曜日の新聞に、稲盛和夫氏が亡くなられた記事が載っておりまして。
稲盛氏は、京セラとKDDIを創業し、経営破たんをした日本航空の再建にも尽力されました。
カリスマ型の経営者として名をはせる一方、若手経営者の育成にも心血を注ぎ「利他の精神」を理念に掲げ「盛和塾」と言う勉強会を実施されました。
「心の経営」を大切に、それを表す一例が「人生や仕事の結果は、熱意と能力と考え方の掛け算である」と言う「人生の方程式」。「熱意」と「能力」は0~100点あるのに対して、「考え方」はマイナス100~プラス100点までである。たとえ「能力」が劣っていても、「熱意」があればカバーできる。しかし、「考え方」が正しくなければ、決して良い結果は得られない。むしろ「能力」、「熱意」があるだけに、社会には大きな害になると説かれました。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3173回

ロータリーの理念に通じるところがあると思います。

心よりご冥福をお祈り致します。

○倒産抑制ひずみ蓄積

少し前のクローズアップ現代のテーマにもなっておりますが、企業倒産が歴史的な低水準となっている。2021年度は6000件超と57年ぶりの少なさである。これは政府や金融機関がコロナ融資として実質無利子無担保で総額約5.5兆円の融資で資金繰りをつないでいるから。

反面、倒産を政策効果で強引に抑え込んでいるのが実態で、中小企業の返済能力は10年ぶりの水準に低下している。こんな資金繰り支援がいつまでも続くわけではない。信用調査会社によると「返済が本格的に始まる22年から企業倒産が増加に転じる可能性が高い」と指摘する。

あるメガバンクの関係者は「N値(借入金を毎年の収益で割る)が100を超えている企業があり腰を抜かしそうになった。」と語る。N値が100なら返済までに100年かかる計算だ。今後の景気回復にも影響しそうである。

ここで夢のような話がある。借金は問題ないという理論 MMT 現代貨幣理論マクロ経済

借金は返さないと決めてしまえば気が楽になる。我々はこれまで国債という借金を一度も返したことがない。償還資金を新規の国債でまかなうならば、それは借り換えであって返済ではない。これから返済はさらに無理そう。それで何か深刻な問題が生じないだろうか。

そもそも国債を発行し続けられるか。つまり政府の資金繰りがつかかという問題は、日銀が実質的にすべてを引き受けてくれることで解決する。しかも信用力のない相手にお金を貸す場合は金利が高くなるのが常識だが、日銀はタダで国債を買って取ってくれるのだ。

ではインフレになるのか。お金の量と物価との間に直接の因果関係はない。皆がせっせと使いお金が世の中を勢よく回るなら物価は上がるだろうが、お金の増えるだけで物価が上がるわけではない。

将来世代にツケを回さないか。誰も返済しないのならそれもなし。親は子に、子は孫に、孫はひ孫に借金を引き継ぐだけだ。借金が膨れ上がっても金利は実質的にゼロだから、利払いの負担もない。

さて、こんな夢のような話を実現する条件は何だろうか。少なくとも一つ、人々が政府を信頼し続けること。もう一つは人々が経済に成長期待を一切抱かないことだ。

あえて人々と言ったのは、日本国民だけではないという意味だ。経済的な裏付けのない通貨の価値を担保するのは、通貨の発行者に対する人々の信頼だ。その信頼が失われれば通貨は暴落しハイパーインフレになる。今でも海外にその例は幾つもある。

人々が収入の増加や成長期待を抱いていれば、やみくもな通貨増発は需要を膨張させ、こちらも望ましくないインフレを起すだろう。今より豊になることは諦めて、それでも政府を信頼し続けるなら、お札は刷り放題だ。

さて皆さんどのようにお考えですか。

以上です。

■ 幹事報告

松村 泰英 幹事

○本日メールボックスに、地区大会記念ゴルフ大会のご案内とだんじり講演会のご案内を入れております

○ガバナー月信9月号を用意しておりますので、ご入用の方はお持ち帰り下さい

○来週9月9日(金)例会の会場設営に関してですが、12時までこの会場を使用しますので、入場は12時過ぎからになりますので、よろしく願い致します。例会開始時間は定刻通り12時30分より開始致します

○本日例会終了後、理事役員会を開催しますので、関係者の方はご出席お願い致します

■ 委員会報告

○ロータリーの友9月号の読みどころの紹介(細川 嘉則 会報・IT委員)

○地区大会記念ゴルフ大会が、10月18日(火)有田東急ゴルフクラブで開催されます。申し込み期限が9月16日(金)までになっておりますので、来週の例会の時までに、参加の有無をお伝え頂いてから提出しようと思っておりますのでよろしくお願い致します(道正田 均 親睦活動委員)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数44名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
9/2	36名	8名	—	83.72%
8/19	37名	7名	2名	90.70%

■ メークアップ

榎本(8/22 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
山本(正)(8/5 理事役員会)

■ ニコニコ箱

・先週 納涼例会ありがとうございました。本日社会奉仕クラブフォーラム川端さん、宜しくお願い致します。(南出)

・本日 川端理事様、クラブフォーラム宜しくお願い致します(松村)

・川端先生、クラブフォーラムよろしくお願いたします(櫻井)

・先週の納涼例会、司会させて頂き有難うございました。失言失礼致しました。精進して参りますので、また宜しくお願いします(松内)

・皆出席の賞をいただいて有難うございました(丹農)

・皆勤賞の御礼(中)

・納涼例会で皆勤賞やお土産等を頂き、ありがとうございました(深井)

・皆出席等ありがとうございました(杉本)

・納涼例会のご参加、有難うございました。皆出席表彰有難うございました(根尾)

・皆出席お祝い有り難うございました(西田)

・早退のおわびです(寺田)

ニコニコ箱合計	30,000円
累計	162,000円

先週のプログラム 社会奉仕部門 クラブフォーラム



社会奉仕担当理事・委員長

川端 徹

社会奉仕委員会、青少年・ライラ(RYLA: Rotary Youth Leadership Awards)委員会の本年度(2022~2023)の担当理事・委員長をさせていただきます。

副委員長には、小野寺 巧様、委員には森口 和信様、寺田 敏也様、杉本 憲一様、外山 正明様、延山 泰典様の計7名で担当させていただきます。

1) 活動基本方針としては、

①地域のニーズを的確にとらえ、当クラブ会員が職業上の能力を活かし、地域の団体とも協力しながら地域社会に奉仕できるように、立案と計画を行い実践していきます。

②青少年に夢と希望を与え、将来の地域のリーダーシップとなる人材、国際社会で活躍される人材を育成できるように奉仕活動を行います。

2) 献血活動について、

現行の年2回で共催を続けるかについては、献血推進の意味ではやはり年2回が望ましい。またロータリークラブの協賛品(御礼品)が良いとの評判が広がり、献血来場者も増加しているので年2回が望ましいですが、今後も御礼品の提供を継続することの負担、当日、ロータリーの持ち場に出務する会員の負担などあります。現行の2回の開催で継続しつつ、少し内容や形態を変えるか? たとえば、御礼品だけ置いておいておき、ロータリークラブの紹介のためのパネルの設置、資料配布、ロゴマークなど貼るなど。泉大津市役所での開催については市職員や市民の人の流れが良いので、ロータリークラブのPRすることも効果的。(松村会員)名前を売るのが目的ではないので、あまり必要以上にPRするのはどうかと思う。現行のようにロータリークラブの紹介の紙面を入れておくぐらいでいいのではないかと。(上田会員)

泉大津市献血推進協議会の会員には、当ロータリークラブは入っていない(現在は共催)、そのためロータリークラブも団体名(社会奉仕委員

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3173回

長代表名)で会員に入っていたきたい。(高寺 会員、現献血推進協議会会長)

3) 港湾美化啓発活動(清掃)に参加

ロータリークラブとして何かアピールできないか? ロータリーのデザインのジャケット、Tシャツなどユニホーム、写真をSNS(Facebook)等で流すなど。

会員がロータリークラブについて、市民と対話し紹介しながらゴミ拾いをするのはどうか。

現在造成中の泉大津市の新公園やその周辺の美化も継続していく必要がある。新公園と周辺地域との間での様々な連携ができていない。環境の美化を含めてそこにロータリークラブの社会奉仕としての役割があるのではないかと。(今井 会員)

4) 認知症支援活動

毎年9月は世界アルツハイマー月間、9月21日は世界アルツハイマーデーです。だんじり講演会「だんじり祭」と「認知症支援」を9月19日敬老の日(祝日)にテクスピア大阪小ホールで開催します。一部で行う認知症サポーター養成講座に、まだ認知症サポーターになっておられないロータリークラブ会員の方にご参加いただければ幸いです。

当会員の中でもだんじり祭の関係者が少なくはありません。オレンジリングを着けて市制80周年パレードや10月の本祭に参加いただければ認知症支援の啓発活動となります。認知症カフェに参加など、会員自身の認知症予防にも繋がります。

5) 子供食堂への共催・支援について

当ロータリークラブでは、前年度、植村会長、瀧谷社会奉仕担当理事・委員長のもとで初めて子供食堂の奉仕活動を行いました。ローズガーデン条南苑での共催に際し八木 秀富会員にご協力ならびにご尽力いただきました。誠に有難うございました。

ロータリークラブとして何か、子どもたちに支援活動ができないかと考えて始めました。社会奉仕事業として継続していただければ有り難いです。(瀧谷 会員)

子供食堂とは、地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格帯で子供たちに食事を提供するコミュニティの場を指しています。

また、単に「子どもたちの食事提供の場」として

ではなく、帰りが遅い会社員、食事をする時間のない家族などが集まって食事をとることも可能です。このように、「人が多く集まる場所」ができたことで、地域住民のコミュニケーションの場としても機能しているのです。

子ども食堂は、2012年、東京都大田区にある八百屋の店主が、朝ごはんや、晩ごはんを十分に食べることができない子どもたちがいることをした八百屋の店主が、自ら始めたのがきっかけです。その活動を知った東京都豊島区の子ども支援をしていた団体のメンバーが活動に取り入れたことで、瞬間に全国に活動の輪が広がっていきました。民間初の自主的、自発的な取り組みから始まりました。(農林水産省公式サイト:「子ども食堂と連携した地域における食育の推進」)

子ども食堂のメリットには、①手づくりで温かい食事が格安で食べられる。

②アットホームな雰囲気と誰かと食事ができる。

③子ども同士、親同士のコミュニケーションが取れる。などあります。

一方、子ども食堂のデメリットは、①スタッフ・会場の確保が難しい。②運営費(活動費)の確保が難しいことなどです。料金設定は無料~300円程度。食材などはフードバンクや地域住民の寄附などで賄っている。活動資金については、子ども食堂を運営している人々の「持ち出し」で準備することが多いため、行政からの助成金などの支援が待たれます。個人でも子ども食堂を支援している団体への寄附が可能。認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえが全国5,000か所の「子ども食堂」と協働しています。ロータリークラブとしては、運営費のサポート、参加する子供さまへのプレゼント(クリスマス時期開催?)などを検討いたします。

以上、会員の皆様全員参加で楽しみながら参加できるような、新たな社会奉仕活動についてもイマジンしチャレンジして行きたいと考えております。1年間宜しくお願いいたします。